

秩父 市議会だより

第12号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (25) 5224
FAX (24) 2594
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



〈影森公民館〉 スポーツ吹矢教室風景

スポーツ吹矢とは簡単にいえば、円形の的をめがけて矢を放つスポーツです。吹矢は矢を飛ばす動力が息で、呼吸で矢を飛ばすスポーツです。ゲームとしての面白さはもちろん、楽しみながら心身を鍛えられ、年齢に関係なく誰でも手軽に楽しめます。

（影森公民館では44の講座やクラブを年間1,500回程度開催しています。経験のない方でも、すぐになじめる事業を計画しました。お気軽にご参加ください。）

3月 定例会

- 平成20年度秩父市一般会計予算 原案可決
- 子育て支援・元気長寿のまち宣言 原案可決
- 秩父市オートキャンプ場条例廃止 原案可決



秩父市議会3月定例会は、3月4日から3月24日までの21日間を会期として開かれました。
 この3月議会では、市政全般に対する一般質問に18名の議員が登壇し、市政発展のための活発な論議が展開されました。
 審議した議案は、初日(4日)市長から提出された42件のうち3件を即決審議し、最終日(24日)に追加議案8件、議員から提出された5件の議案、合計55件の議案です。
 他に請願1件、陳情1件が審議されました。

3月定例会

会期日程

3月 4日	○開会 ○会議録署名議員の指名
○会期の決定	
○諸報告 ○施政方針	
○市長提出議案の報告	
○議案第1号から議案第3号まで一括上程、即決	
○議案第4号から議案第42号まで一括上程、説明	
5日	○休会(議案調査・一般質問ヒアリング)
6日	○休会(議案調査・一般質問ヒアリング)
7日	○議案に対する質疑 ○議案の委員会付託
8日	○休会(土曜日)
9日	○休会(土曜日)
10日	○議案に対する質疑 ○請願・陳情付託
11日	○市政に対する一般質問
12日	○市政に対する一般質問
13日	○休会(議案調査)
14日	○休会(土曜日)
15日	○休会(土曜日)
16日	○休会(日曜日)
17日	○委員会
18日	○委員会
19日	○委員会
20日	○休会(祝日)
21日	○休会(事務整理)
22日	○休会(土曜日)
23日	○休会(日曜日)
24日	○委員長報告に対する質疑 ○討論 ○採決 ○閉会

議会日誌

1月 16日	議会だより編集委員会
21日	議員クラブ連絡会
16日	危機管理・ダム対策特別委員会
29日	有害鳥獣対策等調査特別委員会
2月 4日	鴻巣市視察来秩
29日	議会だより編集委員会
23日	島根県出雲市視察来秩
4日	長野県伊那市視察来秩
5日	岩手県八幡平市視察来秩
12日	有害鳥獣対策等調査特別委員会
13日	第三区議長会議員研修会
18日	議員クラブ連絡会
27日	各派代表者会議
3月 4日	茨城県牛久市視察来秩
7日	各派代表者会議
13日	議会運営委員会
24日	各派代表者会議

請願・陳情

市民の皆さんから3月定例会に提出された請願は1件であり、この請願は、生活産業委員会に付託され、慎重審査の結果、次のとおり決定しました。また、陳情については1件提出されました。

請願の内容		
付託委員会	請願名	結果
生活産業委員会	後期高齢者医療制度に対する意見書に関する請願	不採択

陳情の内容		
要旨	陳情者	
浦山ダム濁水放流について	名水久那町会 町会長 上林 富夫	

意見書の提出

3月定例会の第2日及び最終日の本議会において、議員提出議案の意見書4件(内1件は第2日)が提出され、審査の結果原案のとおり可決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については次のとおりです。

【意見書】

- 道路特定財源制度の堅持に関する意見書(第2日)
- 子どもの医療費助成制度への国庫補助を求める意見書
- 中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書
- 「人権擁護法」の制定のあり方についての意見書



道路特定財源制度の堅持に関する意見書

- 1 今後の具体的な道路整備の姿を示した中期計画において、真に必要な道路の整備・管理に必要な事業量を確保すること。
- 2 毎年度の予算において、道路歳出を上回る税収は一般財源とすること。
- 3 地方道路整備臨時交付金制度を継続するとともに、財政基盤の脆弱な自治体に配慮した交付率の引き上げや交付対象を拡大するなどの拡充を図ること。

子どもの医療費助成制度への国庫補助を求める意見書

政府におかれては、早急に子どもの医療費助成制度への国庫補助・負担を行うと共に、現物給付措置を行っている自治体への国庫負担金及び普通調整補助金の減額算定措置を撤廃されるよう強く要望いたします。

中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書

- 1 中小・小規模企業者の金融支援をトータルに行うための

「仮称・中小企業資金繰り円滑化法」の早期制定
2 各省庁所管のもと数多くある中小企業相談窓口を一本化する。

- 3 公正な取引を実現するため、下請代金支払遅延防止法を厳格に運用すること。
- 4 下請適正取引のためのガイドラインの周知徹底を行うこと。

「人権擁護法」の制定のあり方についての意見書

人権擁護は、もとより我が国が憲法に掲げるところであるが、その擁護が一面的に過ぎれば、一方において、思想及び良心の自由、信教の自由、集会・結社・表現の自由、学問の自由等の侵害をもたらし恐れがある。かけがえなき人権を正しく擁護するためには、国民的理解を踏まえ、十分かつ慎重な検討により、いやすくも運用における公平、中立を疑われることのない制度設計が必要である。

よって、国においては、人権擁護法を立案する際には、国民の不安を払拭し、支持される内容とするよう強く要望する。

市議会を傍聴してみませんか



市議会は、毎年3月、6月、9月、12月の4回の定例会と必要に応じ臨時会が開催され、市民の皆さんに直結した議案・請願等を審議します。

市民の皆さんが選んだ代表がどんな活躍をしているか、市議会を傍聴してみませんか。

※次の定例会は6月3日開催予定です。

3月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	自民ク	共産党	公明党	新社会	無党派
第1号	平成19年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回) 公的資金補償金免除繰上償還のための補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第2号	平成19年度秩父市水道事業会計補正予算(第3回) 公的資金補償金免除繰上償還のための補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第3号	平成19年度秩父市立病院事業会計補正予算(第3回) 公的資金補償金免除繰上償還のための補正予算	可決	○	○	○	○	○	○
第4号	明日の笑顔は世代をこえて!「子育て支援・元気長寿のまち」宣言 秩父市の基本として、子どもや高齢者が安心して住める社会実現の宣言	可決	○	○	○	○	○	○
第5号	小鹿野町と秩父市のし尿処理等に関する事務の委託の変更について 小鹿野町に委託していた吉田地区の浄化槽施工・管理等の終了の措置	可決	○	○	○	○	○	○
第6号	工事請負契約の締結について 高篠中学校体育館改築工事契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○
第7号	秩父市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例 行政財産使用料の算出根拠を明確にする措置	可決	○	○	○	○	○	○
第8号	秩父市行政組織条例の一部を改正する条例 文化財所管部の変更、健康福祉部に新たな業務を追加・移管する等の措置	可決	○	○	○	○	○	○
第9号	秩父市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例 証券取引法の改正に伴う条例の文言整理の措置	可決	○	○	○	○	○	○
第10号	秩父市都市公園条例の一部を改正する条例 スポーツの森に設置するフットサルコートの使用料を定める措置	可決	○	○	○	○	○	○
第11号	秩父市職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例 法律の改正に伴う職員の育児休業等の内容を改正する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第12号	秩父市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 医療職職員の給与を改定する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第13号	秩父市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 選挙における報酬を国会議員選挙等での基準により支給する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第14号	秩父市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例 公職選挙法に基づく市長選挙の公費負担ピラの作成を定める措置	可決	○	○	○	○	○	○
第15号	秩父市公民館条例の一部を改正する条例 吉田公民館の分館を廃止する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第16号	秩父市ふれあい学校条例の一部を改正する条例 荒川西小学校にふれあい学校を開設する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第17号	秩父市子ども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 子ども医療費の支給年齢を小学校3年生から4年生まで拡大する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第18号	秩父市デイサービス事業の実施に関する条例の一部を改正する条例 代替措置の実施に伴う元気村でのデイサービス事業終了の措置	可決	○	○	○	○	○	○
第19号	秩父市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 介護保険料の激変緩和措置を平成20年度も継続する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第20号	秩父市特定農山村地域市町村活動支援基金条例を廃止する条例 基金のすべてを事業にあて事業が完了したために廃止する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第21号	秩父市オートキャンプ場条例を廃止する条例 地震の被害等により柏崎のオートキャンプ場条例を廃止する措置	可決	○	○	○	○	○	○
第22号	秩父市後期高齢者医療に関する条例 新たに制定された後期高齢者医療制度の保険料を市が普通徴収するための措置	可決	○	○	×	○	×	○
第23号	秩父市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 後期高齢者医療制度による国民健康保険税条例の改正の措置	可決	○	○	×	○	×	○
第24号	秩父市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 後期高齢者医療制度による文言整理と医療費支給年齢拡大の措置	可決	○	○	○	○	○	○
第25号	秩父市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例 後期高齢者医療制度による文言整理の措置	可決	○	○	○	○	○	○
第26号	平成19年度秩父市一般会計補正予算(第3回) 歳入歳出確定等による補正措置	可決	○	○	×	○	×	○
第27号	平成19年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第3回) 介護給付費負担金等の補正措置	可決	○	○	○	○	○	○
第28号	平成19年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第4回) 歳入歳出の確定等による補正措置	可決	○	○	○	○	○	○
第29号	平成19年度秩父市水道事業会計補正予算(第4回) 歳入歳出の確定等による補正措置	可決	○	○	○	○	○	○
第30号	平成19年度秩父市立病院事業会計補正予算(第4回) 年度末による予算額の調整措置	可決	○	○	○	○	○	○

3月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結果	会派の態度					
			市民ク	自民ク	共産党	公明党	新社会	無会派
第 31 号	平成20年度秩父市一般会計予算	可 決	○	○	×	○	○	○
第 32 号	平成20年度秩父市国民健康保険特別会計予算	可 決	○	○	×	○	×	○
第 33 号	平成20年度秩父市老人保健特別会計予算	可 決	○	○	×	○	○	○
第 34 号	平成20年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算	可 決	○	○	×	○	×	○
第 35 号	平成20年度秩父市介護保険特別会計予算	可 決	○	○	×	○	○	○
第 36 号	平成20年度秩父市下水道事業特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○
第 37 号	平成20年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○
第 38 号	平成20年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○
第 39 号	平成20年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○
第 40 号	平成20年度秩父市駐車場事業特別会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○
第 41 号	平成20年度秩父市水道事業会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○
第 42 号	平成20年度秩父市立病院事業会計予算	可 決	○	○	○	○	○	○
第 43 号	秩父市教育委員会委員（金子武男）の任命について	同 意	○	○	○	○	○	○
第 44 号	秩父市公平委員会委員（稲垣和子）の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○
第 45 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員（市川 清）の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○
第 46 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員（木村 清）の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○
第 47 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員（加藤 実）の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○
第 48 号	秩父市固定資産評価審査委員会委員（浅賀克彦）の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○
第 49 号	人権擁護委員候補者（稲葉君代）の推薦について	同 意	○	○	○	○	○	○
第 50 号	人権擁護委員候補者（加藤武男）の推薦について	同 意	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 33 号	道路特定財源制度の堅持に関する意見書	可 決	○	○	×	○	×	○
議員提出 第 34 号	大輪分譲用地対策特別委員会設置に関する決議	可 決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 35 号	秩父市議会委員会条例の一部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 36 号	子ども医療費助成制度への国庫補助を求める意見書	可 決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 37 号	中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書	可 決	○	○	○	○	○	○
議員提出 第 38 号	「人権擁護法」の制定のあり方について意見書	可 決	○	○	○	○	○	○
議請第7号	後期高齢者医療制度に対する意見書に関する請願書	不 採 択	×	×	○	×	○	×
市民ク（市民クラブ 14名） 自民ク（自由民政クラブ 6名） 共産党（日本共産党秩父市議団 3名） 公明党（公明党 2名） 新社会（新社会党秩父市議団 2名） 無会派（会派に属さない議員 1名） ※議長は会派人数に含まれていない。			○ 賛成 □ 賛否 ※賛成人数/会派人数 × 反対					

総務委員会

◆明日の笑顔は世代をこえて「子育て支援・元氣長寿のまち」宣言

問 宣言する以上、どのようなハイレベルな施策があるのか、その展開をどのように考えるか。

答 この宣言は理念であり、今後みんなで子育て支援・元氣で長生きすることを念頭にまちづくりを提唱していくものと考え進めていく。

◆工事請負契約の締結について（高篠中学校体育館改修工事、請負金額2億7,720万円）

◆秩父市行政財産の使用料に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市行政組織条例の一部を改正する条例

◆秩父市長の資産等の公開に関



砂場で遊ぶ子どもたち

する条例の一部を改正する条例
◆秩父市職員の育児休暇に関する条例の一部を改正する条例
◆秩父市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

問 医師の給料が現実的に改正後はどのくらいになるか。

答 例として、年収1,596万円が1,611万円にあがるものです。

◆秩父市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆秩父市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例

◆平成19年度一般会計補正予算(第3回) 所管費目

◆平成20年度秩父市一般会計予算 所管費目

※「現年課税分の市民税が減る中で滞納繰越分が増えている。このことは市民の苦しい生活状況を語っている。また、地方譲与税中の道路特定財源はまだまだ

国会の議を得ていないし、私たちはこの一般財源化を要求しています。したがって、ここに示された予算には同意することはできない。」との反対意見が出された。

挙手多数により可決。

○以上11件は原案のとおり可決。

建設委員会

◆秩父市都市公園条例の一部を改正する条例

問 フットサルコートの使用料を、3千円以内とした根拠は。

答 テニスコートを参考にした。また、割引制度は1時間当たり一般3千円、市民千円、コテージ宿泊者1,600円、交流市民(ふるさと秩父カード利用者)2千円の4段階とする。

◆平成19年度秩父市一般会計補正予算第3回 所管費目

◆平成19年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第4回)

◆平成19年度秩父市水道事業会計補正予算(第4回)

◆平成20年度秩父市一般会計予算 所管費目

問 仮称、こども遊園地整備工事とは。

答 長尾根のプールのところを利用して4歳位からの子どもが1日遊べる様な空間を整備する。

問 仮称、夏梅住宅建設個数は。

答 全16戸予定している。

問 尾田蒔小学校耐震業務委託とは。

答 校舎については、特別教室を含め大規模改修を計画している、体育館は高篠小と同規模を予定している。

◆平成20年度秩父市下水道事業特別会計予算

問 下水道センター改築更新設計とは。

答 現状の悪い所を改築する。

問 水洗化率は。

答 中央地区100パーセント、北部第一分佈90パーセント、北部第二分佈(大野原セメントか

ら北側)70パーセント、影森地区96パーセントとなっている。

◆平成20年度秩父市駐車場事業特別会計予算

◆平成20年度秩父市水道事業会計予算

問 石綿管敷設替え工事の状況は。

答 旧市総管路延長の14パーセントに当たる49キロメートルが残存している。吉田管内同24.4パーセントの16.2キロメートルが残存。荒川は2,636メートル残存。大滝には無い。

問 給水戸数28,243戸とあるが未戸数は。

答 101戸232人。

問 皆野、長瀬水道企業団への水売却状況は。

答 80万8,000トン、1億2,700万円を予定している。

○以上8件は原案のとおり可決。

常任会

る常任委員会は、3
た。議案の付託先は、
件、建設委員会に議
員会に議案14件・請
員会に議案12件が付
重審査されました。



秩父第一中学校

生活産業委員会

◆小鹿野町と秩父市のし尿処理等に関する事務の委託の変更に
ついて

◆秩父市公民館条例の一部を改
正する条例

◆秩父市特定農山村地域市町村
活動支援基金条例を廃止する条
例

◆秩父市オートキャンプ場条例
を廃止する条例

問 オートキャンプ場の状況は、
地震による被害は、進入路
と擁壁部分に一部崩壊が見られ、
駐車場及び敷地内には、数箇所
地面の陥没・亀裂・崩落がおき
ている状況である。今後市民の
方が安全かつ快適に利用できる
状態にするためには、約1億円の
修繕費がかかる。

◆秩父市後期高齢者医療に関する
条例



オートキャンプ場への進入路

各4 委員 動

3月定例会におけ
月17日に行われまし
総務委員会に議案11
案8件、生活産業委
願1件、文教福祉委
託され、それぞれ慎

る条例

問 この制度の目的、低所得者
への負担軽減対策、年金徴収の
メリットは何か。

答 世代間の負担の公平という
ことで、高齢者を若い人が支え
るだけでなく、高齢者にも公平
に負担していただくと共に、安
定した財源の確保をはかること
また、現行の医療制度を保持し
ていくことを目的としている。

※「高齢者いじめの制度であり、
市が保険料を徴収することに反
対。」との反対意見が出された。

○挙手多数により可決。

◆秩父市国民健康保険条例の一
部を改正する条例

◆平成19年度秩父市一般会計補
正予算(第3回) 所管費目

◆平成20年度秩父市一般会計予
算 所管費目

◆平成20年度秩父市国民健康保
険特別会計予算

◆平成20年度秩父市老人保健特
別会計予算

◆平成20年度秩父市後期高齢者

医療特別会計予算

◆平成20年度秩父市農業集落排
水事業特別会計予算

◆平成20年度秩父市戸別合併処
理浄化槽事業特別会計予算

◆平成20年度秩父市農集集落排
水事業特別会計予算

◆平成20年度秩父市公設地方卸
売市場特別会計予算

○以上14件は原案のとおり可決。

◆後期高齢者医療制度に対する
意見書に関する請願

○不採択。

文教福祉委員会

◆秩父市ふれあい学校条例の一
部を改正する条例

◆秩父市子ども医療費支給に関
する条例の一部を改正する条例

◆秩父市デイサービス事業の実
施に関する条例の一部を改正す
る条例

◆秩父市介護保険条例の一部を
改正する条例の一部を改正する
条例

◆秩父市ひとり親家庭等の医療

費の支給に関する条例の一部を
改正する条例

◆秩父市重度心身障害者医療費
支給に関する条例の一部を改正
する条例

◆平成19年度秩父市一般会計補
正予算(第3回) 所管費目

◆平成19年度秩父市介護保険特
別会計補正予算(第3回)

◆平成19年度秩父市立病院事業
会計補正予算(第4回)

◆平成20年度秩父市一般会計予
算 所管費目

問 高齢者等福祉タクシー利用
助成事業とは。

答 吉田地区の高齢者に対する
タクシー利用助成で、デマンド
バス運行開始時には廃止する。

問 日本脳炎予防接種委託料の
減額理由は。

答 リスクがあるということと、
新たなワクチンを開発中という
ことで受診勧奨していないので。

問 妊婦超音波検査費補助金は、
エコーの2回分に補助金を
出す市の単独事業である。

問 がん健診の現状と今後は。
答 現状の受診率は10%に満た
ないが、25%が目標である。

問 (仮称)北部共同調理場建
設の予定地は。
答 大田小の校庭を考えている。
※障がい者の不安等を考えると、
そのままとするわけにはいか
ないとの反対意見が出された。

○挙手多数により可決。

◆平成20年度介護保険特別会計
予算



ノンステップバス

※保険料のことと、サービスの
状況を考えて反対するとの意見
が出された。

○挙手多数により可決。

◆平成20年度秩父市立病院事業
特別会計予算

問 院内保育室は。

答 生後6か月から未就学児ま
での10人で来年4月からの予定。
○以上12件は原案のとおり可決。

いっぱんしつもん

江田 治雄

市道の管理について

問 未登記の市道は全市でどの位存在するのか、また売買等による道路閉鎖の心配はないのか。

答 市全域では約千筆の未登記がある。時間と経費はかかるが徐々に進めて行く。また、道路閉鎖は道路法第4条の規程があり特に問題はないと思っている。

シリーズ有害鳥獣問題

問 被害の現状について、また防止特措法制定における市の対応については。

答 被害は益々拡大傾向にあり、猟友会に協力をいただき有害鳥獣捕獲に取り組んでいる。更に電気柵、防護柵の設置の対策補助も継続していく。特措法を受けて、鳥獣被害対策実施隊等の設置もできるので積極的な計画を立てて対応していく。



有害鳥獣被害

地域力について

問 秩父地域振興事業補助金の今年度の実績について。
答 地域住民が自分たち自身の力で地域社会を創るというの概念に基づき市民力を高める目的で実施した。39件、2,236万円を補助金として交付した。来年度は地域の祭りや伝統芸能を伝承するために、地縁再生に向けての支援をするため、まちおこし底力再生事業を実施する予定である。

◎は、他に質問された項目です。

宮田 勝雄

道路特定財源について

問 暫定税率が廃止となった場合の秩父市への影響及び県出先機関への影響は。

答 秩父市への影響は廃止となると2億4千万の減額となる。埼玉県の特定財源は528億円が半減され、現在進行中の事業は大幅に遅れる。



新皆野橋

食の安全について

問 輸入食品についての取組は、日本の自給率向上は。市民農園を含め耕作放棄地の活用方法は。

答 中国産ギョウザが原因と思われる有機リン中毒事件が発生し、早急なチラシ配布等呼びかけ

落合 芳樹

市立病院について

問 救急医療と小児医療について。

答 どちらも厳しい状況だが、4月からは、小児科の常勤医師1名が確保できた。



市立病院

教育行政について

問 学校の適正規模と統廃合について。

答 各学年2ないし3学級程度ある方が望ましいが、それぞれの規模の学校には、それぞれの良さがある。統廃合は、保護者や地域住民、学校現場等から多くの意見を聞き、再編計画を慎重に検討

るなどし、関係機関と連携し安全な農産物が生産できるよう配慮したい。耕作放棄地解消モデル事業を計画している。

合併後の合併特例債の活用は

問 旧市町村の使用金額については。今年度の計画はどのようなものがあるのか。滝沢ダム原石山道路、原石山跡地の利用方法は。大滝地区林道推進は。

答 合併後の特例債は計画どおり進行中。滝沢原石山道路は公売の予定。林道については推進する。

川鶉対策について

問 デッドリバーとなってしまう河川対策は。
答 県でも対策委員会が発足、早急な対策を取りたい。

していききたい。

問 有料授業（学校と学習塾との連携）について。

答 当市での導入は、当面考えていない。

問 幼児教育の今後について。

答 私立幼稚園を含めて、市全体の幼児教育はどうかあるべきか、関係者の皆様と協議し、検討していきたい。

問 奨学金等の保証人に必要な納税証明について。

答 納税額表示のない証明書の提出を求めている。

地籍調査について

問 当市での現状と今後について。

答 旧大滝村で平成14年度から50年計画で実施中で、市全域を調査するかどうかを今後研究していきたい。

◎特認校・複式授業などについて

いっぱんしつもん

新井 兄三郎

行財政改革について

問 国の新基準による財政状況はどうか。

答 国は、財政再基準（レッドカード）を、実質赤字比率20%、連結実質赤字比率30%実質公債費比率35%としている。秩父市は黒字であるので実質赤字比率、連結実質赤字比率はゼロであり、実質公債費比率は11.7%であり健全財政となっている。

問 埼玉りそな総研が試算した秩父市の財政状況はどうか。

答 平成17年度の数値をもとにしたものであるが、秩父市は、埼玉県内2番目に財政バランスのとれた良好な状態であるとの判断をいただいている。今後の財政改革の施策はどうか。

答 現在チャレンジ80プランの推進により経常経費の削減に努めている。合併によるスケールメリットで人件費が大幅に削減されている。首長、議員、審議委員の削減により年約3.8億円、一般職員の減員で約5億円の削減ができた。今後、さらに人的削減や

経常経費の削減だけでなく、市町村合併により得られた財政支援措置や過疎対策事業債など有利な制度を利用し、さらに健全な財政運営に努めていく。



市役所本庁舎

安全なまちづくり

富田 恵子

問 避難所指定校の防災機能の整備、要援護者の支援、防災訓練に子どもたちを防災リーダーとして参加、福祉避難所を平成22年度までに3か所整備について。

答 学校施設の防災機能の整備に充実を図る。非難支援プラン策定に併せ作業部会で検討する。

問 通学路の安全のためカラー舗装の推進の考えは。

答 通学路安全総点検の整備計画を策定中で、秩父警察署と協議しカラー舗装を推進する。

問 小柱、柳井橋付近、県道皆野荒川線と市道幹線60号の三叉路に右折レーンの設置、名称の表示について。

答 小柱インターの供用開始に伴い、計画はあったが協力が得られず、今後も県と連携して取り組む。名称は道の案内の役目を果たすので、地元町会と協議し、設置をすすめる。



柳井橋交差点

地方再生対策債の活用について

問 自主的・主体的な活性化施策について

答 当市の試算額は約2億円。妊産婦検診費用の助成拡大や子ども農山漁村交流プロジェクトのために、秩父市子ども農山村交流協議会を設立、若者の就労支援として、わが子の自立支援セミナーの実施等、特別支援教育補助員4名の増員を予定している。

新井 康一

秩父事件に関連して

問 「やさしいみんなの秩父学」では「自由民権運動と関連付けることでしか困民党の意味を見出せないという立場は、すでに過去のものととなった。秩父困民党に関する評価もこうした動向の中で見直さなければならぬ段階に至った。」と締めくくっている。中学校の歴史教科書でも秩父事件を



井上傳蔵邸（秩父事件資料館）

平成20年度の学校教育について

問 夏休み短縮について20年度についてはどのような方向で考えているのか。また「全国学力テスト」について今年も実施するのか。

答 夏休み短縮は学校管理規則に従い今年度も実施する。学力テストは教育指導等の改善に役立つと考え、来年度の調査にも参加する。

◎最近の市長の発言から（子ども医療費無料化と無料妊婦健診）

◎市役所庁舎・市民会館の今後について

◎は、他に質問された項目です。

いっぱいしつもん

今井武蔵

獣害防止対策の広域連携並びに特措法の対処

問 ①秩父地域の行政、県出先機関、民間等と連携策。②埼玉県、東京都、山梨県、長野県との連携対策。③鳥獣被害防止特措法の施行。④市有林のクマ冬眠対策。

答 ①は秩父郡市の獣害対策、研修会で取組中。②は昨年甲武信源流サミットで取組提言、今年山梨で実施。4都県連携は県に対処要望。③特措法は市が取組実践。「鳥獣被害対策実施隊」は猟友会と協議「被害防止計画策定」は早急に取組。④は周辺に注意看板等を設置。

秩父芸能会館の建設による郷土芸能の継承方

問 秩父の祭は多く、その付祭継承の為、会館建設の取組は。

答 芸能会館建設の要望書12月受付、旧秩父セメント弓道場の活用要望が町会よりあり、本件前向きに検討中。



神明神社神楽の様子

秩父市合併（平成17年4月）の検証作業

問 秩父吉田大滝荒川4市町村合併成果とその検証は。答 合併協定書を確認の連絡協で検証作業を取組。又吉田、大滝、荒川各総合支所の充実と適正化を推進中。◎秩父文化賞文芸賞等の創設 ◎医療崩壊・医師不足の現状深刻な医療の対応 ◎武山育英基金高山奨学金の状況 ◎芝桜育苗管理と売店の衛生対策 ◎浦山ダムの濁流水放流被害とその対応 ◎広葉樹植栽事業と森林の保全 ◎よいまちモニター制度

◎は、他に質問された項目です。

新井 豪

「サイクルシティ秩父」構想

問 近年秩父はツーリングの名所として注目されている。今年にはインターハイ自転車レース大会が開催され、また秩父宮杯大会が30年ぶりに秩父での開催が検討されている。サイクルトレインは大人気を博し、さらには大滝滝沢園地でマウンテンバイクコースの設営が検討されている。観光・健康・環境に効果のある自転車の普及等「サイクルシティ」としてのブランドイメージ定着の絶好のチャ



ロードレース大会の様子

ンスと考えるが、現況と展望は。

答 自転車に関して、この秩父が対応を求められると強く感じている。自転車フレームの開発を進める市内の企業と協力のもと、プロ選手が試走できるロードコースの設営も検討している。自転車について秩父の展開を深く追求する事で様々な可能性を期待している。

小中学生の「ネット掲示板サイト」の利用について

問 掲示板サイト内の悪質な書き込みによる「いじめ」が全国的に横行している。加害者の特定が極めて困難な現況で、それら「いじめ」等の対策は。答 まず、こうしたネット等による「いじめ」が起らない環境を整備する。「相談できる教師・信頼できる大人」を育てることが急務と考え、警察・専門家等を含めた「相談体制」を構築していく。

出浦章恵

命のリスト（災害時要支援者リスト）

問 風水害や地震などの災害が起きた際に、迅速かつ的確に市民の命を救うための対策が必要である。とりわけ災害弱者をどう救済するか、今から準備しておく事が大事ではないか。いざという時の命のリスト作成の現況はどうか、うかがいたい。

答 現在町会や民生児童委員、在宅福祉員などの協力により、単身高齢者等への見守り・声かけによる「ふれあいコール事業」を実施している。H19年度は1,485世帯の報告があり名簿の作成がされている。昨年8月には、「地域包括支援ネットワーク」も構築した。また要介護認定情報や障害者程度区分情報は福祉情報として保有しており、介護保険サービスを利用している方の介護プ

ラン作成件数はH19年10月現在、2,273人で、個人毎の健康状態や家族状況の把握が定期的に行われている。こうした情報は、地区別毎に個人名で把握できているが、安否確認支援を必要としな

い方も相当数含まれ、調整が図れていない。「災害時要支援者リスト」としては整備できていないのが現状。緊急を要する高齢者への支援は日頃から行なわれていて、この積み上げが災害時対策として有効と考える。

◎原油高騰による市民への支援策



災害時の家屋倒壊

いっぱんしつもん

坂本文雄

学校給食は地産地消とアレルギー生徒の対応を

問 文科省も学校給食は、「食材の生産や生産過程・流通や食文化を学ぶ場と位置づける。」方向であり、これらについてどのような対応か。

答 アレルギー体質生徒の対応は、新年度に栄養士等を含めた委員会で検討。地産地消も努力する。



第一中学校調理場

市役所職員の「心の病」の対策について

問 社会経済生産性本部の調査で、最近3年間で地方自治体職員の「うつ病など心の病」が増加していると報告された。秩父市の状況と対応は。

答 市役所でも3名休暇を取得した職員がおり、一般職員対策のメンタルヘルス研修会等を開催する他、所属長に日頃の職員の心身の状態に注意を払って頂き、早期発見と対応は全体で対処する。

秩父市の開発行為について

問 影森の秩父産菜の開発は、現在盛られている土砂の指導と公害の無い企業誘致については。

答 土砂の指導は県の廃棄物指導課で行う。公害の無い企業誘致は業者より契約書が出されている。大野原にヤマダ電機が進出との説明会があった。

問 大型店進出の規制や市街地出店等の指導は。法的に規制は困難。市街地出店指導は研究する。

福井貴代

福祉行政について

問 高齢者の肺炎予防対策として、大滝地区で実施している肺炎球菌ワクチン接種の公費助成制度を、市全体に広げられないか。

答 市全体の65歳以上の高齢者を対象にするには、助成額の見直し、接種該当者の完全な把握システム、助成金の支払い方法等の検討が必要である。



肺炎球菌ワクチンのポスター

問 立替払いとなっている介護保険の住宅改修費

と福祉用具購入費の支払いを、受領委任払いにできないか。(現在は市の負担9割、自己負担1割) 住宅改修費は、平成15年1月より、5施工業者について受領委任払いとなっているが、利用は少ない。自己負担を軽減することができるので、さらに利用を促進し、利用しやすい制度となるよう努める。福祉用具購入費については、比較的低額となっていることから、現在は実施していない状況である。

新3種のアスベスト調査について

問 新たに発見された3種のアスベストの対応は。国・県でも特に指導がなく調査対象としていなかった。今後調査方法を含め早急に対応する。

答 橋りょうの安全性確保について ◎ミューズパークのイルミネーションについて

金田安生

防災対策について

問 多くの市民が集まる公共施設、体育館や図書館、公民館の危機管理体制はどうなっているのか。責任体制や避難誘導を含めた訓練等は確認しているのか。また、防災無線放送が聞こえない、と言う声が相変わらず聞かえてくるが、個別受信装置の全戸配布等も含め、抜本対策は無いのか。

答 危機管理担当者を配置し、毎年訓練を実施している。個別受信装置を配布している自治体もあるが、10年後にはアナログ波からデジタル波への切替えもあり、思い切った投資も難しい。

情報インフラの整備について

問 テレビの地上デジタル波への全面切替えまで残すところ3年となった。市内難視聴地区の対策は。

答 吉田・大滝・荒川地区中心に受信設備や難視聴等の調査を平成19年に実施した。難視聴地域は100か所程ある。今後具体的解消策の検討に入る。検討事例としては、旧市内難視聴地域である浦山地区は光ファイバー網での受信、定峰・栃谷地域の難視聴地帯はサテライト方式等による受信対応を検討中である。 ◎道路網の整備(橋の安全対策は) ◎過疎化対策について ◎森林と河川環境の保全について



難視聴対策が急がれる山合い地区

◎は、他に質問された項目です。

いっぱんしつもん

久喜 邦康

施政方針について

問 秩父の発展には雇用の促進が重要だが、その一方で7割の子どもが都会へ流出するのはなぜか。

答 秩父の優れた企業を知らない子も多いと考える。

問 医学生への奨学金は10年以上先に効果が出る。では緊急の医師不足への対応は。

答 県や連携大学への派遣依頼を重ねていく。

問 今回補助対象となった妊婦エコー検査で施行医との協議は行ったか。

答 医師会のみ説明した。施行医に説明はしていない。

市町村合併の検証について

問 財政上の合併効果は。

答 歳出減と特例債による歳入効果など数々あった。

問 合併協定の滝温泉リハビリ診療所は。

答 新市まちづくり基本計画に記載されていない事業は対象外であるが今後は研究する。

問 バイオマス発電は平成15年議会で3百人の雇用が生まれ南洋植物の栽培が出来るかと市長は答弁したが、5人の雇用しか生まれていない現状に対しては。

答 見学者への対応など働く機会の創出になった。

問 退任される市立病院院長の考える今後の地域医療は

答 セメント跡地の利用

計画

◎は、他に質問された項目です。



バイオマス発電所

高野 安之

市報へ「空公告」の掲載

問 大輪分譲地公告記事について、市報への公告記事は結果的に「空公告」と成り、虚偽の内容公告だった。

大輪分譲地造成、販売と、「空公告」が秩父市政に取って無視して通れない大変重大な問題で有ると捕らえる。前議会質問で、「造成には1平方メートル当たり10万8,049円掛かっている、分譲の見通しは。」と質す。がその時の答弁は、「今年度(19年度)内に宅地分譲として販売予定」と答えただけ。余りにも議員の発言を軽く見て、その場逃れの答弁をして居る。

12月25日この件の問題で「秩父市公有財産審議会」は諮問を受けた。諮問を受けた時には、「諮問は了承見込み」とされ、既に印刷され、印刷会社から発送される時、市報に公告を知らない秩父市公有財産審議会委員も高額なので、審議未了。これが信頼の置ける公共機関のやる事か。市報に空公告を掲載する。未だ何の弁明をしない。これは市議会議員高野安之及び市民を大変愚弄した手法で、無責任なこと。今後の分譲予定は。審議会の存在に対する考え方は。

問は了承見込み」とされ、既に印刷され、印刷会社から発送される時、市報に公告を知らない秩父市公有財産審議会委員も高額なので、審議未了。これが信頼の置ける公共機関のやる事か。市報に空公告を掲載する。未だ何の弁明をしない。これは市議会議員高野安之及び市民を大変愚弄した手法で、無責任なこと。今後の分譲予定は。審議会の存在に対する考え方は。

答 今後の議会の検討を待ち対応する。審議会答申と一月号の相違は、事務手続きの不手際、深く詫びる。

市報1月号 大輪分譲地公告記事

斎藤 捷栄

旧秩父セメント第一工場跡地の再開発について

問 大型店の進出が噂されているが現状は、また大型店の進出・撤退時には何らかの対策が必要ではないか。

答 土地管理会社名が掲示されているが店舗等建設関係の具体的情報は把握していない。大型店については、市の条例や県のガイドラインにより、地域貢献要請や撤退時の協議、早期情報提供などの対応を図っていく。

大滝・大輪地内の分譲宅地について

問 1平方メートル当たり42,000円の積算根拠は、また分譲価格や販売計画について、大滝村議会ではどのような審議がされたのか。

答 宅地造成の総事業費は124,786,675円で、これを総面積2,980平方メートルで割って算出した。大滝村議会では、販売計画、分譲価格についての審議、議論は行われていない。

影森地内における秩父鉄道事故について

問 事故の概要と現況、今後の対応は。

答 貸車20両のブレーキが利かず、引込み線の車止めを突破し、機関車と貸車5両が脱線した。近日中に復旧工事開始の予定であり、地域関係者に対する補償についても早急に進める旨鉄道会社の回答を得ている。



秩父鉄道事故の記事 (出典：朝日新聞)

いっぱんしつもん

中村 義一

財政健全化は職員の意識改革で

問 財政健全化を目指し、職員の意識改革を図り、財政状況を徹底的に見直すとの方針を昨年に引き続き示しているが、「言葉だけではない」具体的な行動として示すことが必要だが、どのような取り組みをしているのか。

答 部課長会議等で改革を徹底するよう指示をしているが、今後もさらに改革していく。



職場の風景

行政評価制度の本格導入について

問 行政評価の本格導入に向け具体的な行動と、業務の棚卸の実施状況、および行政評価シートの見直し調査の予算への活用は、どのようなものか。

答 新年度予算にコンサルタント業務の予算を計上した。導入に向け、関西学院大学の専門職大学院の経営戦略研究科と協議に入りたい。業務の棚卸は新年度にアドバイスを受け実施したい。また、見直し調査の予算への活用は、財源の效果的配分に重きを置きたい。

指定管理者制度について

問 競争原理について検討すべきと思うが考えは、再募集の場合十分検討して、市民の理解を得るようにしたい。

新井 重一郎

秩父市としてできる地球温暖化対策の取り組み

問 ①薪ストーブ、②温水器、③太陽光発電、④廃食用油BDF化、⑤バイオマスコジェネ施設等の利用促進支援は。

答 ①②③の支援は重要、検討したい。④は現在市で実施している、スクールバスなどへも供給拡大したい。⑤を地域分散型方式と大型センター方式の両者について検討したい。

秩父市の教育内容の改善、教員の質の向上について

問 全国学力テストの結果をふまえた、①市としての取り組み、②各学校の取り組みは。

答 ①きめ細かな指導のために学校補助員を今年度70名、来年度77名の予算計上を行う。②生徒一人一人の学習定着度に応じた習熟度別学習形態を工夫する。

問 秩父市での団塊世代教員退職者の推移は。

答 今年度10人、20年度17人、21年度17人。

問 教育に情熱を燃やす民間人からの教員採用は、教員免許が必要。校長は免許無しでも可。専門知識・技能を持つ人には特別免許交付後採用可。

問 旧東高校の廃校教室を利用した常設「秩父科学実験室」の設置とこれを利用した大学との連携による年間を通じた理科実験教室の開催、教員の理科再教育。

答 校舎は県所有。市長が県に直接交渉する。



旧秩父東高校

金崎 昌之

子育て支援のための施策について

問 18年度の埼玉県の不登校率が悪化し、全国平均を上回ったと新聞発表された。中学校で多いと言われてきた秩父市の不登校の現状と対策は。

答 16年度をピークに減少中。今後は予防対応を推進。共働き家庭の保護者から要望の強い病中病後児保育施設の早期設置は。

答 予定した施設の改修が財政面で困難となった。当面「ファミリー・サポート・センター」の充実で対応。

雇用対策について

問 誘致が完了したみどりが丘工業団地に代わり、新たな企業誘致の数値目標となる場所の確保が必要。

答 吉田地区などにミニ工業団地の整備を検討中。

問 雇用対策の一環として、通勤利便性の向上が必要とされている。西武秩父線の乗り換え解消や最終電車の増発、また皆野寄居有料道路料金を通勤時間帯に引き下げるなどの対策が求められる。

答 ねばり強く西武鉄道や県に要望していく。

「障害者控除対象者認定書」交付サービスの充実

問 所得税や市県民税の減額につながる、介護認定者の「障害者控除対象者認定書」の案内や内容の充実は、新たな周知方法を検討し、利用促進に努める。

◎は、他に質問された項目です。



皆野寄居有料道路

各特別委員会報告

有害鳥獣対策等調査特別委員会

〔第11回委員会〕
 市当局の出席を求め、19年度の捕獲業務委託の結果につき報告を求めた。猪・鹿等の捕獲実績は上がっているが、霊長類である猿の捕獲については、実績がなかなか上がらず、農作物被害により農地の耕作放棄が年々増加する現況にあるため、補助金の増額を求める意見が出た。

〔第12回委員会〕
 秩父地域における野生動物の特性や効果的な被害対策の報告と事例紹介や情報提供等があり、鳥獣保護計画及び特措法についての研修会における被害対策の

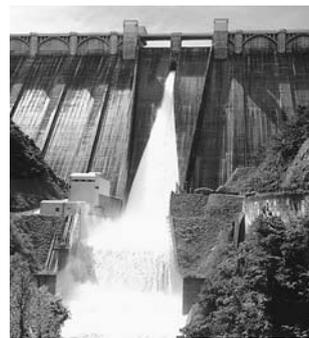


民家に現れた猿

考え方として、食・住・体が重要である。食は食べ物を与えない。住は安住して繁殖ができる場所を作らない。体は適正な個体数の効率的な環境の維持、餌場や隠れ場所を作らない。猿には人間が怖いものと認識させる事が重要との報告があった。生息数調査については、糞粒法で臭生態保護協会で定期的に行っているとの説明があった。有害鳥獣対策について、市民参加の研修会を開いてほしい。動物のつきあい方等のパンフレットを作成、市民に配布。猿の駆除費補助金の増額を。

危機管理・ダム対策特別委員会

平成19年12月定例会後から3月定例会までの2回の委員会について報告する。
 〔第16回委員会（1月21日）〕
 この委員会では、「土砂災害防止法に基づく警戒区域について」審議を行なった。



浦山ダム

〔第17回委員会（2月18日）〕
 この委員会では、「滝沢園地のその後の交渉経過について」の浦山地内を調査している。また、秩父市民が住んでいるところで危険な場所に何世帯、何人の方がいるのか資料の配布を要求するとの意見が出された。
 「浦山ダム・清水バイパスについて」「危険区域における人家分布の資料について」審議した。この3件について、当局からそれぞれ説明を受け、浦山ダム・清水バイパスについては、「河川の濁りについて川遊びの時期になり秩父に遊びに来る人も多くなるので、問題が発生する前に対策等検討されたい。」等の意見が出された。
 今後も、当委員会に付託されている諸問題について、調査の必要性を認め、特定事件として閉会中の継続審査に付すべきものと、今定例会で決定された。

編集後記

春の訪れを待っていたかのよう、野に山にツボミが開花し、色とりどりの花を咲かせる季節となり、皆さんも行楽にお出かけかと思えます。

さて、6月より新メンバーに替わるので、今回が現メンバー最後の「議会だより」発行となります。

現在のメンバーは、委員長を中心として、市民の皆さんに読みやすい、判りやすい、また、伝えやすい、「議会だより」を作ろうと行つてまいりました。

一般質問を個人枠に変えたり、議案説明をつけた事にお気づきだと思います。

2年間の委員会ではありましたが、私なりに大変勉強になりました。ありがとうございました。

笠原宏平 記

編集委員

- 委員長 坂本 文雄
- 副委員長 笠原 宏平
- 委員 斎藤 捷栄
- 委員 新井重一郎
- 委員 新井 豪
- 委員 福井 貴代